

## 第5回「認知症の夫を介護して」

認知症の人と家族の会 秋田県支部

代表 石村 照子 氏



夫は去年旅立ちました。

おかしいなと思うことはあっても年のせいと軽く考えていましたが、次第に癩癩を起こす、物作りができなくなる、友達が帰ると物が無くなったと言う、退職したのに朝から会社に行く服装をするなどが起こってきました。

病院嫌いなので健康診断に行くことにして受診、アルツハイマー病と診断されました。10年前のことです。目の前が真っ暗になりました。

それからも、運転のこと、施設からの脱走、他人の部屋に入る、脳梗塞の発病など、怖いことや大変なことが沢山ありました。友人にも言えず不安で仕方がありませんでしたし、夫も不安だったのではないかと思います。

そんな時、新聞で「家族の会」のことを知り藁をもつかむ思いでつどいに参加しました。介護中の方、看取りを終えた方などのお話を聞いて、私だけではないのだと気持ちが落ち着き肩が少し軽くなりました。笑えるようにもなり、前を向いて進んでいけると思いました。

